

【国別開発協力方針】 別紙

対ニカラグア共和国事業展開計画

2018年 4月 現在

基本方針 (大目標)	経済社会開発の促進と環境・防災への支援												
重点分野 1 (中目標)	経済開発の促進に向けた基盤づくり												
開発課題 1-1 (小目標) 都市問題への対応	<p>【現状と課題】</p> <p>マナグア首都圏では、慢性的な人口増加が続いている。ニカラグアの人口は2016年までの過去10年間で約81万人増加しているが、その約7割にあたる約56万人をマナグア市の人口増加が占める（マナグア市都市開発マスタープラン）。また、周辺部ベッドタウンでの人口増加も顕著である。首都圏への人口集中により、都市機能の効率性の低下がみられ、運輸交通、上下水道、電力、大気・水質汚染、廃棄物管理、自然災害に対する脆弱性、土地利用計画などの分野にて取り組むべき課題は多い。</p>					<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>我が国が策定を支援した「マナグア市都市開発マスタープラン」に基づいて、マナグア首都圏が抱える課題解決に向けた協力を実施し、同首都圏のバランスの取れた発展に貢献する。具体的には、土地利用計画・交通計画の策定のほか、都市インフラ整備、環境保全と防災に関する支援を中心に実施する。</p>							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名		実施期間						支援額 (億円)	備考	
					2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度			
	マナグア首都圏 開発プログラム	国土開発の核となるマナグア首都圏において、環境に配慮した効率的な都市機能強化に資する協力を推進すべく、我が国による「マナグア市都市開発マスタープラン」に基づき、以下の分野の協力を進める。		マナグア市都市開発マスタープランプロジェクト	開発計画	■						4.10	
		・土地利用計画の策定		交通需要予測・計画策定能力強化 (JICA-STRADA)	個別研修	■■■■■							
・交通計画の策定		第二次マナグア市上水道施設整備計画 フォローアップ協力	F/U	■■■■■									
・ライフラインの整備		マナグア市無収水管理能力強化プロジェクト	技プロ	■■■■■						3.60			



重点分野2 (中目標)	貧困層・地域における社会開発										
開発課題2 (小目標) 社会サービスの普及・強化	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニカラグアは中南米においてハイチに次ぐ貧困国であり、基礎インフラ整備及び社会サービスは十分に整備されていない状況である。</li> <li>・同国における就学率は改善傾向にあるものの、一方で、経済的問題や教育への意識の低さのため、初等教育における退学率や留年率は依然として高い。基礎学力の不足は将来的な職業選択の機会喪失にもつながりかねないことから、初等教育の完全普及と質の向上は喫緊の課題である。</li> <li>・保健医療分野では、特に地方におけるサービスの提供が遅れており、その要因は財政不足・インフラ及び人材不足・保健医療制度の未整備等、多岐にわたる。特に、妊産婦及び乳幼児の死亡率と5歳未満児死亡率は、中南米カリブ地域平均に比較し高く、母子保健を中心とした地域保健の充実が主要課題である。</li> <li>・また、同国においては、障害者等の社会的弱者に対する支援や社会保障が不足している。さらに、青少年を取り巻く環境として、若年妊娠や家庭内暴力などのジェンダーに起因する課題も多くみられる。</li> </ul>					<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>社会サービスの普及、強化プログラムは、ニカラグア政府の開発政策の中でも「公益と社会平等」を達成する上で重点課題であり、教育、保健医療及び社会的弱者への支援を柱として協力を推進する。</p>					
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)
社会サービス強化 プログラム	初等・基礎教育の向上に向けて教育施設の整備や教育関係人材の育成を支援する。また、地域の拠点病院整備を支援する。さらに、妊産婦や乳幼児等の社会的弱者に対する支援を実施する。	みんなにわかりやすい中学数学プロジェクト	技プロ	2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2.58	
		マドリス県ヌエバ・セゴビア県教育施設整備計画	無償							12.67	
		チョンタレス保健管区及びセラヤセントラル保健管区における母と子供の健康プロジェクト	技プロ							5.20	
		セラヤセントラル保健管区二次機能病院建設計画	無償							26.55	
		ポアコ病院建設計画フォローアップ計画	F/U								
		経済社会開発計画（国立放射線治療センター機材整備）	無償							5.00	
		教育・保健医療分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.57	
		基礎教育・保健医療サービス改善に関する課題別研修	課題別研修他								
		保健・教育分野の青年海外協力隊／シニア海外ボランティア	JOCV/SV								

重点分野3 (中目標)	環境保全と防災											
開発課題3 (小目標) 環境保全と防災	<b>【現状と課題】</b> ・ニカラグアは火力発電への依存が強く、火力発電への過度の依存は、燃料輸入を通じた経常収支不均衡の原因となっており、同国政府は、化石燃料による発電からの脱却に力を入れている。また、地方部における電力アクセスの低さ及び高い電気料金等の課題にも直面していることから、再生可能エネルギーの比率向上と省エネ対策を推進している。さらに、湖の水質汚染、森林面積の減少、廃棄物未処理の問題が顕著で、いずれも環境管理の意識や取組が不十分であることに起因しており、環境管理全般の改善が課題である。 ・また、ニカラグアは太平洋沿いに活火山が多く、地震や火山による被害が頻発している。さらに、熱帯低気圧・ハリケーンによる洪水被害も毎年発生しており、多くの自然災害に直面している。ニカラグア政府は積極的に防災対策に取り組んではいるものの、頻発する自然災害に対しては十分な対策とはいえず、強靱な防災インフラの充実は継続的な課題である。			<b>【開発課題への対応方針】</b> 環境分野では、再生可能エネルギーの利用を促進し、環境保全に資する支援を行う。また、防災分野では、中米地域における防災能力向上に資する支援を実施し、特に地震・津波に関しては、日本の経験・技術を活かしつつ、災害リスク削減のための支援を実施する。								
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	環境・防災強化 プログラム		持続可能な電化及び再生可能エネルギー促進事業	有償	2017 年度 以前	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	14.96	
			モンパチョ地熱開発事業準備調査	協準								円借款付帯条件
			中米津波警報センター能力強化プロジェクト	技プロ							2.50	
			中米広域防災能力向上プロジェクトフェーズ2	技プロ							9.50	地域全体
			環境保全・防災に関する課題別研修	課題別研修他								
		SICA地域における生物多様性の統合的管理と保全に関する能力強化プロジェクト	技プロ								SICA加盟全8か国を対象	

【凡例】 「協準」(＝全ての協力準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「技プロ」(＝技術協力プロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「個別研修」、「課題別研修他」(＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝青年海外協力隊)、「SV」(＝シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(＝科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協力)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(＝水産無償資金協力)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協力)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「中小企業支援」(＝中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、実線「———」(＝実施期間)、破線「- - -」(＝実施予定期間)  
 ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載しうえて使用する。